



所
あ
じ
で
き
み

経費削減

事業所向け

省エネ術



電気料金や資材価格が高騰している 今だからこそ… 省エネによる経費削減をはじめましょう

昨今の電気料金や資材価格の高騰による経費の圧迫は、
大企業と比べて資金調達が難しい中小企業において、今後の経営方針や経営戦略、
さらには会社の維持・存続にまで波及するおそれがあります。

そこで、利益改善に向けて企業が最も手軽にできる経費削減の方法が「省エネ」です。

省エネにより削減できた水道光熱費は売上関係なく利益となり、
さらにその利益は何年も継続できます。

ちりも積もれば山となる！

無理なく、継続的に省エネに取り組んでいきましょう。



成功企業に聞いてみよう！

Q

省エネで経費削減に取り組んだきっかけは？

A1

電気料金の値上げを受け、 省エネに挑戦

電気料金の値上げにより、電気使用量が前年より少ないにもかかわらず電気料金が年間13万円も増加しました。それに危機感を覚え、昼休みの消灯や電源タップの活用による待機電力の削減など、できることから省エネへの取り組みをはじめました。

〔省エネに取り組んだ結果〕

年間 **25 万円** の経費を削減



A2

事務所の改修にあわせて、 設備更新で省エネに挑戦

事務所の改修にあわせて、LED照明の導入や高効率空調機への更新を実施しました。最新の機器に更新したことで快適で省エネな事務所に生まれ変わり、従業員の生産性や満足度も向上しました。

〔省エネに取り組んだ結果〕

年間 **90 万円** の経費を削減



A3

省エネ最適化診断が、新たな 省エネ対策への気づきに

これまでも自社内で省エネには取り組んでいましたが、専門家の省エネ最適化診断を受けてみたところ、まだまだ省エネの余地があったことを知りました。今は省エネ最適化診断の報告書をもとに、省エネ対策に取り組んでいます。

〔省エネに取り組んだ結果〕

年間 **30 万円** の経費を削減



A4

取引先企業からの要請により 省エネに挑戦

大口の取引先企業から、サプライチェーン※全体でのCO₂排出量削減の要請があったため、省エネに本格的に取り組み始めました。結果として、光熱費の削減にもなり、取引先とも良好な関係が続いています。

※製品の原料調達から製造・物流・販売・廃棄に至る、企業の事業活動の影響範囲全体を指す

〔省エネに取り組んだ結果〕

年間 **15 万円** の経費を削減



カンタン

省エネ CHECK シート

現在実施できていない省エネ対策 にチェックを入れてみましょう

- | | |
|---|-------------------|
| ☐ 不要な箇所の消灯の徹底 | 約 1.0 万円削減 |
| ☐ 使用する照明を間引く | 約 3.2 万円削減 |
| ☐ 昼休みなどの消灯の実施 | 約 2.6 万円削減 |
| ☐ 卓上ライトの活用 | 約 3.2 万円削減 |
| ☐ 空調設定温度の緩和 | 約 2.6 万円削減 |
| ☐ ロールカーテンやブラインドの適正使用 | 約 2.3 万円削減 |
| ☐ 定期的なフィルターの清掃 | 約 1.2 万円削減 |
| ☐ サーキュレーターや扇風機を活用した空気の循環 | 約 3.7 万円削減 |
| ☐ 不使用時に暖房便座のフタを閉める | 約 0.3 万円削減 |
| ☐ 便座温度や洗浄水の設定温度の見直し | 約 0.3 万円削減 |
| ☐ 給湯機のウィークリータイマー機能の活用 | 約 0.8 万円削減 |
| ☐ 給湯温度の見直し | 約 0.2 万円削減 |
| ☐ クールビズやウォームビズの推進 | 約 2.6 万円削減 |
| ☐ 昼休みや離席時などのPCモニターのOFF | 約 0.4 万円削減 |
| ☐ 電源タップの活用による退社時などの電源遮断 | 約 0.8 万円削減 |
| ☐ 階段の利用で健康省エネ | 約 0.4 万円削減 |

実施できていない省エネ対策の金額を合計してみましょう

あなたの事業所の省エネポテンシャル:

万円

取引先や求職者から選ばれる企業のポイントとして、脱炭素をはじめとした環境への取り組みが注目されています。省エネ対策など脱炭素経営に取り組むことで、経費削減だけでなく、企業競争力の強化や人材獲得力の向上にもつながります。

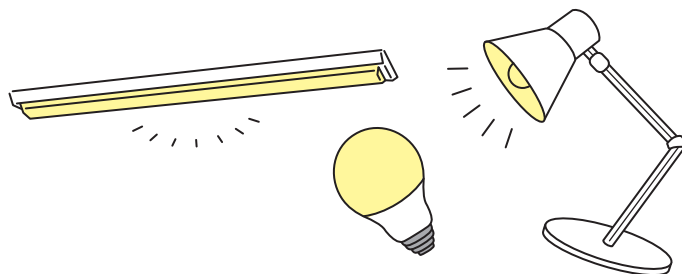
詳しい省エネ対策は **中面** を御覧ください！



オフィスの消費電力の約1/4を占める照明。 少しの注意と工夫で、日々の電気料金の削減に。

オフィスの省エネは、照明から！

点けっぱなしなどの無駄をなくし、必要なところを照らす
メリハリのある照明で、今よりも働きやすいオフィスに。



レベル 1

不要な箇所の 消灯の徹底

省エネへの第一歩はこれ！
こまめな消灯から、事業所
の省エネをはじめましょう。



年間 **9,700 円** の削減

不在時にも点灯していた蛍光灯30灯を、2時間消灯した場合(43W/灯)

使用する 照明を間引く

廊下や更衣室などの明る
さ、そんなに必要ですか？明
るさを見直してみましょう。



年間 **32,300 円** の削減

蛍光灯200灯のうちの20灯を間引いた場合(43W/灯)

レベル 2

昼休みなどの 消灯の実施

昼休みに消灯すると、節電
以外にリラックス効果や
リフレッシュ効果も期待で
きます。



年間 **25,800 円** の削減

蛍光灯200灯のうちの80%を1時間消灯した場合(43W/灯)

卓上ライトの活用

卓上スタンドライト等を活
用し、部屋全体ではなく作
業するスペースだけ明るく
しましょう。



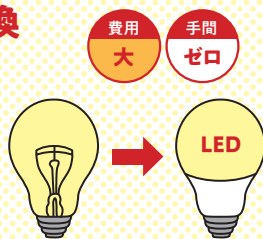
年間 **32,000 円** の削減

昼休みや残業時等に蛍光灯100灯を消灯し、5台の卓上ライトを活用した場合(蛍光灯: 43W/灯、卓上ライト: 6W/台)

レベル 3

LED照明への交換

蛍光灯や白熱灯からLED
照明に交換することで、消
費電力を70%以上削減で
きるケースも。さらに、長寿
命で交換頻度も減ります。



年間 **210,000 円** の削減

蛍光灯200灯をLEDに更新した場合(蛍光灯: 43W/灯⇒LED: 15W/灯)

人感センサーや 明るさセンサーの導入

人感センサーは器具の消費
電力を約60%削減、明る
さセンサーは器具の消費電
力を約30%削減できます。



年間 **21,800 円** の削減

照明へのセンサーの導入により、蛍光灯20灯の点灯時間が短縮した場合(人感センサー: 10時間⇒4時間、明るさセンサー: 10時間⇒7時間)

レベル 1

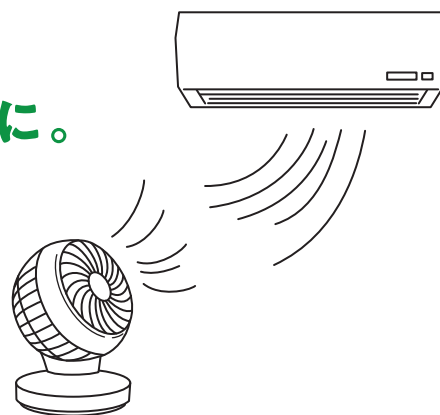
費用をかけずに
手軽にできる省エネ対策です。

レベル 2

少しの手間や費用で
実施できる省エネ対策です。

空調の効率的な使用が、 省エネで快適なオフィス環境実現の近道に。

空調機の消費電力は、夏は事業所全体の消費電力の約49%、
冬は約34%を占めており、省エネに取り組むことで大きな効果を実感できます。
また、空気の循環や窓際の断熱などの取り組みは、
より快適で働きやすいオフィス環境をつくることにもつながります。



レベル
1

空調設定 温度の緩和

費用
ゼロ

手間
小

夏:室温28℃

冬:室温20℃

いつもより空調の設定温度を夏は1℃高く、冬は1℃低くするだけで、電気使用量を10%削減できます。

年間 **26,200 円** の削減

空調の設定温度を1℃緩和した場合

レベル
1

ロールカーテンや ブラインドの適正使用

費用
ゼロ

手間
小

空調の効率を上げるため、窓から熱が入らない(逃げない)ように外気を遮断しましょう。

年間 **23,200 円** の削減

空調使用時や夜間にロールカーテン等を適切に利用して、空調負荷が低減した場合

レベル
2

定期的な フィルターの清掃

費用
ゼロ

手間
中

フィルターの清掃を行うだけで、電気使用量を冷房時は4%、暖房時は6%削減できます。

年間 **11,900 円** の削減

年に2回程度、空調機のフィルターを清掃した場合

レベル
2

サーキュレーターや扇風機を 活用した空気の循環

費用
小

手間
小

冷暖房の運転に応じて、サーキュレーターなどの設置位置や首振り角度を調整して空気を循環させましょう。
※夏と冬で効果的な運転方法が異なります。

年間 **37,100 円** の削減

サーキュレーターや扇風機の適切な利用により、空調の設定温度を2℃緩和した場合

レベル
3

高効率空調機への更新

費用
大

手間
ゼロ

最新の高効率空調機の中には、人感センサーや消し忘れ防止タイマーなどの機能もあり、省エネと快適性の両立が可能になります。

年間 **55,300 円** の削減

高効率空調機への更新を実施した場合(COP:3.2⇒4.2)

レベル
3

全熱交換器の導入

費用
大

手間
ゼロ

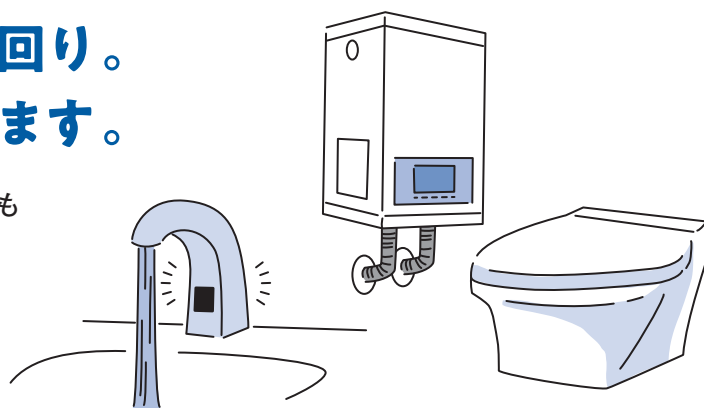
全熱交換器を導入することで、必要な換気量を確保しながらも空調にかかる電気使用量を削減できます。
※全熱交換器:換気の際に、室内の空気から熱・湿度を回収して、外から取り入れる空気にその熱・湿度を移す設備

年間 **41,800 円** の削減

全熱交換器を導入した場合(熱交換効率60%)

毎日、何気なく使用している水回り。 実はそこ、省エネや節水ができます。

トイレや給湯機などの水回りの設備は、導入されてから一度も
設定や運用の見直しが行われていないケースがあります。
この機会に一度見直して、最適化してみましょう。



不使用時に暖房便座の フタを閉める

費用
ゼロ

手間
小

暖房便座のフタを上げたままにしていると、放熱して、電気使用量が増加します。必ず閉めるようにしましょう。



年間 **2,600 円** の削減

開けっぱなしにしていた暖房便座のフタを閉めるようにした場合（5台、貯湯式）

便座温度や洗浄水の 設定温度の見直し

費用
ゼロ

手間
小

夏にトイレの便座温度や洗浄水の温度を見直すと、省エネにつながります。季節に応じて調整しましょう。



年間 **3,000 円** の削減

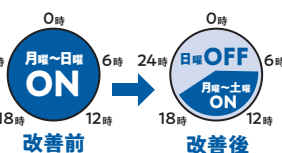
暖房便座の便座温度と洗浄水の設定温度を"中"から"弱"に変更した場合（5台、貯湯式）

給湯機のウィークリー タイマー機能の活用

費用
ゼロ

手間
中

給湯機にウィークリータイマー機能がある場合、事業所の稼働日時に合わせてタイマーの設定を行いましょう。



年間 **7,700 円** の削減

月～日の24時間稼働していた給湯機1台を、月～金の7時～18時にタイマーを設定して稼働した場合（貯湯量:11.7ℓ）

給湯温度の見直し

費用
ゼロ

手間
中

貯湯機能のある給湯機の沸き上がり温度は、65℃に設定しましょう。また、休日や夏季等にお湯を使用しない場合は、給湯機の電源をOFFにしましょう。



年間 **2,000 円** の削減

沸き上がり温度を85℃としていた給湯機1台の沸き上がり温度を65℃に変更した場合（貯湯量:11.7ℓ）

最新の節水トイレ への更新

費用
大

手間
ゼロ

最新の節水トイレに更新すると、10年前の製品と比較して電気使用量を約10%削減でき、水道使用量も削減できます。



年間 **11,300 円** の削減

トイレを2012年製から2022年製に更新した場合（5台、貯湯式）

センサー式 自動水栓の導入

費用
大

手間
ゼロ

水やお湯の出しばなしがなくなるため、水道使用量を削減できます。



年間 **12,700 円** の削減

手洗いに使用する全ての水道に自動水栓を導入し、手洗いにかかる水道使用量を80%削減した場合

ここまでやれば、 あなたのオフィスはエコオフィス！

OA機器やエレベーター、自動販売機など、
オフィスにあるものは工夫次第で省エネが可能です。
また、これらの身近な機器への取り組みは従業員の省エネ意識の
向上にもつながり、自主的な省エネ行動へとつながることも期待できます。



レベル 1

クールビズや ウォームビズの推進

クールビズやウォームビズを
推進し、空調機の設定温度を
1℃緩和することで、電気使
用量を10%削減できます。



年間 **26,200 円** の削減

クールビズやウォームビズの推進により、空調の設定温度を1℃緩和した場合

昼休みや離席時などの PCモニターのOFF

離席時などには、手動で
PCモニターのOFFを徹底
しましょう。また、PCのスリー
プ機能も活用しましょう。



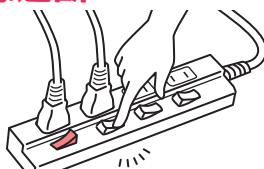
年間 **4,200 円** の削減

35台のPCモニター(24インチ)を、1日1.5時間消灯した場合

レベル 2

電源タップの活用による 退社時などの電源遮断

電源タップを活用するこ
とで、PCやPCモニターの待
機電力を手軽に削減しま
しょう。

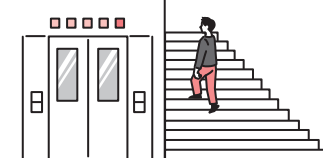


年間 **8,400 円** の削減

35台のPCとPCモニターに電源タップをつけて、待機電力を削減した場合

階段の利用で 健康省エネ

上下3階への上り下りには、エ
レベーターではなく階段を利
用しましょう。省エネだけでなく
健康増進も期待できます。



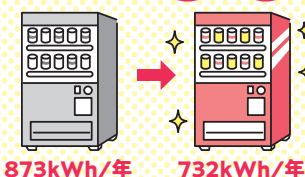
年間 **4,300 円** の削減

エレベーターを使わずに、1Fから3Fまで階段で移動した場合(1日15往復)

レベル 3

省エネ型自動販売機 への交換

最新の省エネ型自動販売
機は、10年前の製品と比較
して電気使用量を約16%
削減できます。



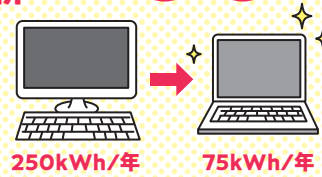
873kWh/年 → 732kWh/年

年間 **2,100 円** の削減

2012年度製の自動販売機1台を、省エネ型に更新した場合(電気使用量:873kWh/年→732kWh/年)

デスクトップPCから ノートPCへの更新

デスクトップPCからノート
PCに更新することで、電気
使用量を約70%削減でき
ます。



250kWh/年 → 75kWh/年

年間 **26,300 円** の削減

10台のデスクトップPCを、ノートPCに更新した場合(電気使用量:250kWh/年・台→75kWh/年・台)

福岡市の省エネ支援事業については裏表紙をご覧ください。





福岡市の支援を活用して

お得な経営を!

福岡市では、皆様の脱炭素への取り組みを支援するため、「補助金」や「サポート制度」等を実施しております。
皆様に役立つ情報があるかもしれません。定期的にチェックしてみませんか。

福岡市の支援 1

脱炭素に関する 取り組みへの補助金や サポート制度

省エネ設備への更新や太陽光発電導入への補助をはじめ、省エネにつながるサポート事業を実施しています。活用しないのはもったいない!ぜひ活用しましょう。

詳しくは
こちらから



福岡市の支援 2

省エネの取り組みに 関する事例紹介

省エネに取り組む先進企業が実施した事例等を紹介しています。活用できる事例が有るかもしれません。定期的にチェックしましょう!

詳しくは
こちらから



福岡市の支援 3

セミナーへの 参加

国の政策の動向、環境経営に取り組むメリット等を解説するセミナーを実施しています。経営改善につながるヒントがあるかもしれません。一度参加してみませんか。

詳しくは
こちらから



詳細については福岡市HPでご確認ください。

福岡市 環境局脱炭素社会推進部脱炭素事業推進課

[TEL] 092-711-4204 [FAX] 092-733-5592

[E-mail] datsutanso-jigyo.EB@city.fukuoka.lg.jp

福岡市 チャレンジ脱炭素

検索

福岡市HPの
情報はこちらから >

